



串木野中学校教頭通信

Kyo to correspondence

～当たり前のことを当たり前～

第42号

令和6年 2月15日(木)

いちき串木野市立串木野中学校教頭
文責 長岡

川内商工高等学校出前授業

さて皆さん、学校で行われている「キャリア教育とは何か？」と聞かれて答えられるでしょうか？

文部科学省はキャリア教育について次のように述べています。。

キャリア教育は、子ども・若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけである。そして、キャリアの形成にとって重要なのは、自らの力で生き方を選択していくことができるよう必要な能力や態度を身に付けることにある。

学校の教育に求められていることが「生きる力」の育成となります。「確かな学力」や「豊かな人間性」、「健康・体力」を身に付け、社会人として自立した人を育てることが大切になってきます。

そこで、進路指導が重要になってきますが、子どもたちが早い段階で「進路選択」を意識してほしいと思い、(教頭先生の無茶ぶりで笑)川内商工高等学校さんに依頼をして、2年生を対象に「出前授業」を行っていただきました(感謝!).

インテリア科では部屋の間取りを考え、機械科ではCADの体験でネームプレートを作成しました。また、電気科では電気配線を実際に行ったり、プログラミングソフトを活用してドローンを飛ばしたりしました。商業科は自作のアプリを活用してタイピング練習等を行いました。



子どもたちも興味をもって楽しそうに活動していた様子が印象的でした。

子どもには無限の可能性があります。たくさん努力をして挑戦して、可能性を広げてほしいと願います。



「一度も間違ったことのない人は
いないだろう。
いるのであれば、それは、
何にも挑戦しなかった人だ。」



川内商工高生招き 専門的な学習体験

串木野中

いちき串木野市の串木野
中学校で1月30日、薩摩川
内市の川内商工高校教員と
生徒による出前授業があっ
た。中学2年生約100人
が高校の専門的な学習を体

験し、進路選択に向けてイ
メージを膨らませた。

中学校側から高校に依頼
して初めて実施した。商業
や機械といった4学科か
ら、中学生は1人2学科を
選んで体験。電気科では教
員らの指導を受け、工具を
使って電気配線の接続に取
り組んだ。プログラミング
ソフトを活用したドロー
ン制御にもグループプ
ごとに挑戦し、目標地
点に下ろすのに試行錯
誤したII写真。

ほかにインテリア科

ではワンルームの間取
りを考えたり、高校生
の作品を見学したりし
た。同中の栢奏志さん
は「知らないことばか
りで面白かった。高校
選びに生かしたい」と
話した。(鶴園悠太)